

1月15日(月) 9時～ 「大崎市 デジタル市役所」を スタートします

市では、新たなサービスツールとして、「大崎市」LINE公式アカウントを開設しました。LINEを活用し「行かない」「書かない」「待たない」の『デジタル市役所』をスタートします。

市LINE公式アカウントでは、防災情報や暮らしの情報、イベント情報など、皆さんの生活に役立つ情報を配信していきます。

今後も、さらに機能を追加し、サービスを充実させていく予定です。ぜひ、友だち追加してみませんか。

📞 デジタル戦略課情報政策担当 ☎ 23-5091

LINE公式アカウントのポイント

市から発信する情報のうちから、受信したい情報を選べます。大崎市メール配信サービス*の配信内容もLINEで受け取ることができます。

また、道路や遊具の損傷の通報、申請・施設予約機能などのサービスを順次拡充していく予定です。詳しくは、市LINE公式アカウントや市ウェブサイトなどで周知します。

※既に大崎市メール配信サービスに登録している人で、LINEでのみ情報の受け取りを希望する場合は、メール配信の停止の手続きが必要です。

選べる情報

※受信情報は、設定画面からいつでも変更できます。

- イベント・講座
- 税金・保険
- 健診・予防接種
- 手当て・助成
- 学校・教育
- 高齢者・介護・障がい福祉
- アンケート
- 防災・消防
- 観光
- 子育て
- 移住・定住
- 地域内交通
- ごみ・リサイクル

LINE初心者の皆さんを支援します

LINEの友だち追加の方法や使い方が分からない人を対象に、支援ブースを設置します。気軽に相談してください。

期間 1月15日(月)～19日(金) 10時～16時
場所 市役所本庁舎1階屋内広場「パタ崎さん家」

友だち追加の方法

市LINE公式アカウントに友だち追加する方法は、事前にLINEアプリがインストールされていれば、次の3ステップで完了します。

インストールは無料ですが、通信料は利用者の負担です。

Step1



二次元コードを読み取る。
またはLINEのホームから「@osaki-city」を検索する。

Step2



「追加」を押す。その後、トークに切り替わるので「トーク」を押す。

Step3



追加後、利用規約に同意した後に届くメッセージから受信情報を設定する。
※受信情報は、1月15日(月)から設定可能です。

登録完了!

小・中学生平和作品コンクールの入賞者を表彰しました

令和5年11月21日、小・中学生平和作品コンクール表彰式を開催しました。

市では、平和事業の一環として、子どもたちの平和に対する思いや考えを発表する「小・中学生平和作品コンクール」を毎年実施しています。本年度は、新たな試みとして、小学生の部を作文コンクールからポスターコンクールに変更し「小・中学生平和作品コンクール」を実施しました。

■小学生の部 ポスターコンクール

奨励賞	かんなり 神成 蒼汰さん	古川第五小学校 5年
	あべ ひな 陽菜さん	古川北小学校 5年

■中学生の部 作文コンクール

最優秀賞	わか な こみ 若菜 心美さん	古川東中学校 1年
優秀賞	あべ ゆ な 結菜さん	古川東中学校 2年
	うじ え ひ な 氏家 陽菜さん	古川北中学校 3年



▲吉田副市長(前左)と小・中学生平和作品コンクールの受賞者の皆さん



▲市ウェブサイト

応募作品は、小・中学生合わせて40作品となり、小学生の部2点、中学生の部3点が入賞しました。
入賞作品は、市ウェブサイトに掲載します。作品のうち、作文は冊子にまとめ、各学校や図書館で閲覧できるほか、ポスターは市役所本庁舎内のデジタルサイネージに掲載します。ぜひ、子どもたちの平和に対する強い思いを、作品を通して感じ、考えを深めてみませんか。

まちの話題や出来事、
ニュースをお届けします!

CITY TOPICS

第7回全国ササニシキ系『ささ王』決定戦2023の受賞者(カッコ内は受賞銘柄)(敬称省略)

第七代『ささ王』	エコファーム蔵王株式会社(ササニシキ)
金ささ賞(ささ王・大崎耕土)	菅井 宏樹(ささ結)
金ささ賞	若槻 慎也(ササニシキ)
銀ささ賞	高橋 淳(ささ結)
	加藤 憲治(ささ結)
	千葉 賢司(ささ結)
	加美山 徳久(ササニシキ)
	小関 恭弘(ササニシキ)
	今野 知教(ササニシキ)
	関 孝浩(ささ結)



◀第七代「ささ王」に選ばれた、エコファーム蔵王株式会社社長 村上 善吉 氏

2023で第七代『ささ王』が決定しました

令和5年11月22日、「ササニシキ」や「ささ結」のおいしさを競う「第7回全国ササニシキ系『ささ王』決定戦2023」の最終審査が、古川農業試験場で実施されました。

『ささ王』決定戦には、『ささ結』27点、県内外から「ササニシキ」56点、総勢83点が出品され、機器分析を経て、『ささ結』と「ササニシキ」の各TOP5の計10点が最終審査

に進みました。

最終審査では、審査員6人が炊きたてのご飯と酢飯の味や香りなどを審査し、蔵王町のエコファーム蔵王株式会社が出品した「ササニシキ」が、『第七代ささ王』の栄冠を手に入れました。